

第3編 学 校 教 育

1. 学校教育の基本方針

(1) 小・中学校教育 推進目標と指導の重点

『ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化』

- 1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人材の育成に努める。
 - (1) 大館の未来を切り拓くための総合的人間力（「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」）の育成
 - (2) 基本的な生活習慣を身に付け、自律した行動ができる児童生徒の育成
 - (3) 基本的な学習習慣の確立と学ぶことの意義の浸透
 - (4) 児童生徒一人一人が自己肯定感・有用感をもって生活できる集団づくり
 - (5) 運動の習慣化、日常化の確立と充実した食育による健康の保持増進
 - (6) いじめ・不登校問題の予防及びその克服のための支援体制の充実
 - (7) 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進
 - (8) 「主体的実践力」強化の観点から、ふるさとキャリア教育の深化
- 2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する
 - (1) 教育ツーリズムによる「本質を追い求める教員が集う街」の実現
 - (2) ふるさとの価値を多面的かつ広域的に捉える機会の充実
- 3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る
 - (1) 就学前教育及び中等・高等教育とのつながりを重視した「教育の縦の基軸」の強化
 - (2) 地域住民や民間企業等との連携等「教育の横の基軸」を生かしたスクール・コミュニティの形成
- 4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い、「おおだて型授業（響学）」の質を更に高める
 - (1) 児童・生徒主体で、進行・展開していく「おおだて型授業（響学）」の推進
 - (2) 各校の研究実践を県内外に発信・交流することによる評価及び改善
 - (3) 幼保・小・中・高・大連携や学校間交流による実践研究
 - (4) 地域の学習材等、教育資源を活用した授業や教育活動の開発
 - (5) 教育専門監、授業マイスター等を活用した実践的研修の活性化
 - (6) 「おおだて型授業（響学）」の実効性を高めるツールとして、ICTを効果的に活用
- 5 学習指導要領に対応した教育環境や基盤の整備を推進する
 - (1) 未来大館市民としての資質・能力を育成するための体制を構築
 - (2) 学校と行政の連携により、個性や特性が発揮できる教育環境や教職員の職場環境を整備

(2) 就学前教育 推進目標と指導の重点

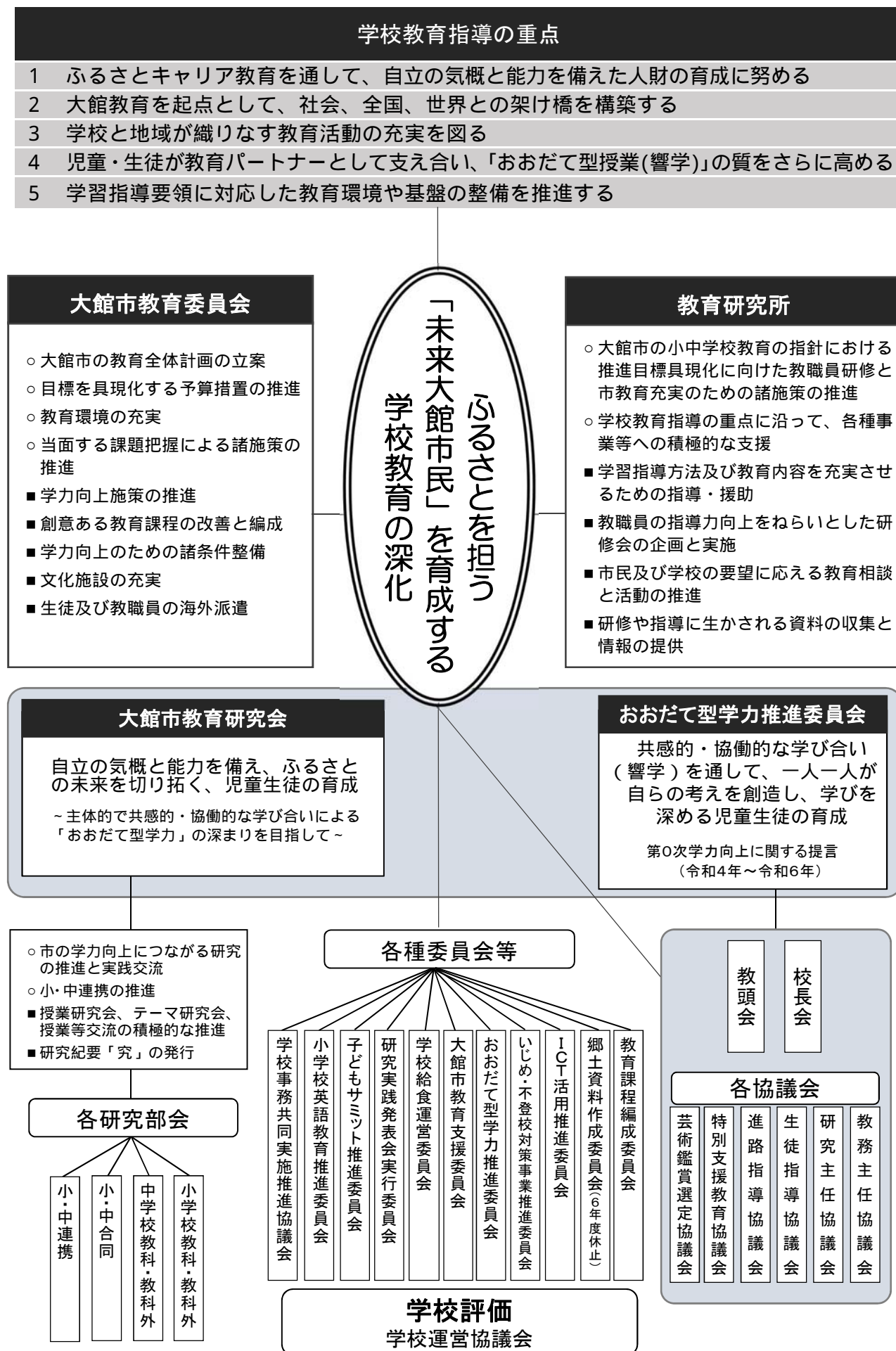
『豊かな生活体験を通して、人間的基礎力を育む就学前教育の推進』

架け橋期に期待する子どもの姿

周囲の人々や環境と主体的に関わり、学ぶ喜びや楽しさを実感しながら仲間とともに育ち合う子ども

- 1 主体的に環境にかかわり、遊びや生活を通して総合的に発達していく過程を大切にしながら指導に努める。
 - (1) 基本的な生活習慣や態度の形成
 - (2) 一人一人の特性に応じ、発達の課題に即した指導の充実
 - (3) 人と関わる力や思考力、想像力や表現力を育む環境の構成
 - (4) 地域との関わりの中で、充実感や達成感が味わえる多様な体験の充実
 - (5) 友達と協同する経験や規範意識を身に付けていくクラスづくり
 - (6) 運動習慣の形成や食育など健康な生活リズムづくりへの取組
- 2 地域社会に開かれた信頼される園づくりを推進する。
 - (1) 学校評価・外部評価の実施、結果の公表と活用
 - (2) 「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」が示すところから創意工夫ある教育課程の編成・全体的な計画の作成
 - (3) 全職員で取り組む特別支援教育の園内体制の確立
 - (4) 保護者との信頼関係を基盤にした子育て支援の推進
 - (5) 地域や家庭とともに子どもを育てる環境づくり
- 3 実践的指導力を高める教職員研修を推進する。
 - (1) 園内研究体制の確立と自園の研究主題に向けた保育の実践
 - (2) 小学校教育との円滑な接続のための連携の推進
 - (3) 今日的な課題に対応するための研修の充実

(3) 大館市学校教育推進全体構想



(4) 指導の重点と関連する施策及び事業

ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の深化

1 ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める

- 第0次学力向上施策（提言）の中間評価
＜共通目標＞
共感的・協働的な学び合い(響学)を通して、一人一人が自らの考えを創造し、学びを深める児童生徒の育成
- 県学習状況調査の分析と改善に向けた対策
- 学校訪問（算数数学・生活・理科・外国語活動・外国語・生徒指導等・幼保小連携交流）
- 教育委員学校訪問
- 小学校外国語活動支援員派遣（小）
- A L T 派遣（中）
- 適応指導大館おおとり教室事業
- いじめ・不登校対策事業
（子育て相談会・講話、ふれあいお楽しみ会）
- 臨床心理士の配置
- 県スクールカウンセラー配置事業（全中学校）
- 大館市スクールカウンセラー訪問事業
- 教育支援委員会
- 通級指導教室（桂城小・扇田小・釈迦内小・一中）
- 特別支援教育地域センター（桂城小）
- 幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」
- 教育支援員の配置
（小学校45名、中学校6名、おおとり教室1名）
- 子どもハローワークの運営
- 子どもサミット活動
（ペットボトルキャップ、こでん回収、ロス削減活動、あいさつ運動、メディアコントロールに関わる活動）
- 未来人財プロジェクト
- ふるさとキャリア教育作品コンクール

2 大館教育を起点として、社会、全国、世界との架け橋を構築する

- 教育ツーリズムを通して、参集を希望する志ある全国の教員が、あるべき教育の姿を語り合う場を設定
- 他市町等との交流による授業マイスター等教員の派遣
- 教育アテンダントの配置
- 子どもサミット活動（あいさつ運動、釜石市児童生徒会「かまいし絆会議」との交流）
- 中学生海外研修派遣事業
- 交流事業（南種子町、常陸大宮）
- 他課所による児童生徒派遣事業等との連携

3 学校と地域が織りなす教育活動の充実を図る

- 幼保小連携関係事業
（わか杉っ子！育ちと学びステップアップ事業）
（幼保小の架け橋プログラム）
- 百花繚乱作戦
- ふるさとキャリア教育夢事業
- ふるさとキャリア教育ステップアップ事業
- キャリア教育コーディネーターの配置
- スクールガード・リーダー巡回指導
- 地域学校協働本部事業
- 地域防災活動
- 指導主事はちくんの派遣
- 登下校防犯プラン推進会議
- 子供110番の家
- 大館未来型コミュニティ・スクールの構築と推進
- 学校・家庭・地域との連携・協働の促進

4 児童・生徒が教育パートナーとして支え合い「おおだて型授業(響学)」の質を更に高める

- おおだて型学力推進委員会
- 大館市教育研究会（小中合同部会）
- 教職員研究実践発表会
- 夏季研修会・I C T活用研修講座
- 初任者研修・講師研修会
- 市内諸施設・企業等見学会及び研修会
（兼大館市初任者研修）
- 小学校英語教育推進委員会
- 小学校英語教育推進アドバイザーの配置
- 小学校外国語活動支援員研修会
- 授業マイスター認定制度・チャレンジ授業賞・ふるさと授業賞
- 授業力向上支援研修
- I C T活用推進委員会
- I C T支援員の配置

2. 学校の概要 (R6.5.1現在)

(1) 児童生徒数・学級数

小学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	4 学年	5 学年	6 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	20	20	19	21	20	21	30	151
児童数	365	393	386	393	408	439		2,384

1学年の学級数には1・2学年の複式学級1学級を含む。

2学年の学級数には2・3学年の複式学級2学級を含む。

3学年の学級数には3・4学年の複式学級1学級を含む。

中学校

学 年	1 学年	2 学年	3 学年	特別支 援学級	合 計
学級数	17	17	18	16	68
生徒数	420	436	455		1,311

(2) 教職員数

校種別	教 職 員								市職員（会計年度任用職員含む）						合 計
	校 長	教 頭	教 諭	講 師	養 護 教 諭	栄 養 職 員	事 務 職 員	小 計	校 務 主 事	栄 養 職 員	調 理 技 師	教 育 支 援 員	そ の 他 職 員	小 計	
小学校	17	17	178	12	19	4	19	266	35	2	10	45	11	103	369
中学校	8	8	107	22	9	3	9	166	19	0	0	6	7	32	198
合計	25	25	285	34	28	7	28	432	54	2	10	51	18	135	567

(3) 病院学級

校種別	児童・生徒数	教員数
小学校	0	0
中学校	0	0
合計	0	0

(4) 通級教室

校種別	学級数	児童・ 生徒数	教員数
小学校	4	54	4
中学校	1	17	1
合計	5	71	5

３．学校施設等の概要

(１) 小学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
桂 城 小	浅野 直子	桂城（かつらじょう）の名を受け継ぐ本校は、桂城未来科のテーマを今年度も「つなげよう わが町 桂城 城下町」～自覚と誇りをもち行動する桂城っ子～と決めました。城下町を中心に歴史と伝統を学び、地域貢献活動に取り組み、未来に向けて桂城っ子の笑顔と元気を発信します。また桂城っ子は、全員の手が挙がる「チャレンジタイム」と、考えを上げ深める「チェンジタイム」で共感的・協働的な学び合いを目指します。創立１５０周年を迎える今年度、自信と誇りをもって、学校教育目標である「未来を拓く、心豊かで自立した子どもの育成」に取り組めます。
城 南 小	花田 千鶴	今年も合言葉は「Nice Tryでつながる・高まる！」。元気で明るい挨拶と、児童が主体的に課題解決に向かう「シンカタイム」を組み込んだ学習に取り組んでいます。また、県の「ICTを活用した授業改善支援事業」は昨年度で３カ年の事業を終了しましたが、今年度も継続してICT活用の研究を進めています。毎年大好評、６年生手作りの「ふるさとCM」をはじめとするプロジェクト」。全学年で取り組み、ふるさと、未来のつくり手となる力を育てています。城南っ子と職員ともに、Nice Tryで創立１５０周年目の歩みをつないでいきます！
城 西 小	川崎 郁子	県内初のコミュニティ・スクールに指定されて１８年目。「チーム城西」とともに光りがやぐの学校教育目標の下、「Be Happy！大作戦」～みんなで幸せになろう～に取り組む、一人一人がBestを尽くし、everyone（みんな）の幸せを目指しています。「ありがとう」で学校と地域を幸せにする活動を重ね、地域の「弥栄」を目指します。そのためにまずは城西YES！と行動すること、そして行動で得られる「感動・納得・感謝」を感じながら歩みを進めていきます。
有 浦 小	野呂 謙一	教育目標「大館を愛し、次代を担う、“気づき、考え、行動できる”子どもの育成」のもと、物事を「自分ごと」として捉える「有浦っ子プライド」を御旗として、「学ぶ力」「自制力」「パートナー力」「コミュニケーション力」の４つの資質・能力の育成を重点に据えて教育活動を展開し、未来大館市民の育成を目指します。
釈 迦 内 小	佐藤 潔	子どもたちが自ら考案したキャラクター「向陽戦隊さくらンジャー」となり、桜三心「美しい心・挑戦の心・前向きな心」、向陽三行「創る、かかわる、やり遂げる」を胸にがんばっています。また、看板事業である今年度の釈迦内サンフラワープロジェクトは、「絆を深め 咲かせよう笑顔 最高の未来へ」をテーマに、地域と関わり絆を深め、ひまわりを県内はもとより国外にも広めるとともに、模擬会社「サンフラワープロジェクトカンパニー」を立ち上げ、創立１５０周年を記念した新商品を開発するなどして、地域に貢献できる活動を進めていきます。
長 木 小	中井 淳	令和５年度から「子ども、保護者、教師、地域 みんながパートナー」という教育理念を掲げました。児童が自分たちで考えてやってみようことを企画する児童会活動、エゾタンポポの保護活動に加え、ハチ公ドーム前の旧駅舎周辺をあげて埋め尽くす「岱野駅前PJ」への参入、保護者の有志で結成されたエゾポッポくらぶの活動の推進など、長木小が「Well-beingな学校」であり続けるための活動を開始しています。これらの活動を通して、伝統の鳳凰太鼓の響きのように、力強くたくましい子どもの育成を目指しています。
川 口 小	津幡 治久	半径２００m程の円内に保育所、小学校、中学校、公民館、駐在所が収まり、駅、バス停も目の前。抜群の立地条件を生かし、地域貢献・交流活動「プロジェクトK」によって、全校児童が地域に元気と笑顔を送っています。小林多喜二や重右衛門堰、川口獅子踊り等の歴史をひもときながら、ネギの栽培・販売や、ねぎ１グランプリに取り組む姿はまさに未来大館市民そのもの。リサイクルステーション「リサイくるりん」を活用して、家庭・地域とともにSDGsの学びを深めます。
上 川 沿 小	藤嶋 俊英	秋田杉のぬくもりに包まれた校舎で、本校のシンボルツリーであるニュートンの木をモチーフにしたイメージキャラクター「ハートさん」「カッシーさん」「ニュートンさん」を目指し、学習やスポーツに励んでいます。また、学区に位置する果樹園や校地のそばにある学校田では、子どもたちの夢や希望を育む活動「とびっきりの上川沿」を展開しています。保護者や地域の方々とともに「笑顔とあたたかさのある学校」「一人一人が大切にされる学校」「地域とともにある学校」づくりに取り組んでいます。
成 章 小	一関 光	成章書院の歴史と伝統を受け継ぐ成章っ子は「チャレンジ！プラス１」を合言葉に、「地域と関わる子・学びを深める子・心をみがく子・体をきたえる子」を目指して、学習や活動に励んでいます。学習リーダーやミニ先生が活躍する主体的な学び、枝豆を栽培し商品化を行う「１２th 成章かがやきプロジェクト」、小・中学校合同の花ボランティア・奉仕活動・あいさつ運動・メディアコントロール、地域の病院や施設への「元気応援ボード」の贈呈。今年度も成章っ子は、地域に学び、地域に笑顔と元気を届けます。

(R6.5.1現在)

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
241	12	23	38,589.54	6,844.70	M 7 .4.24	大館市水門町1-12 0186-42-2262
298	13	22	14,675.01	7,122.64	M 7 .4.24	大館市字桜町9 0186-42-3025
253	12	19	21,509.00	6,379.07	(統合) S 33. 9.30	大館市城西町8-1 0186-42-3238
468	20	31	28,870.00	6,927.47	S 17. 6.15	大館市有浦四丁目6-55 0186-42-2834
169	10	18	29,397.11	7,345.10	M 7. 6.26	大館市釈迦内字相染台24 0186-48-2934
149	8	16	23,711.40	4,692.04	M 10. 1.15	大館市上代野字八幡岱45 0186-48-5158
85	9	15	18,717.00	5,128.80	M 7.10.21	大館市川口字隼人岱108-68 0186-42-9762
117	8	14	28,574.63	4,614.04	M 12.11. 2	大館市餌釣字前田75 0186-49-6155
61	8	15	30,660.33	5,568.56	M 7. 5.27	大館市十二所字大平190 0186-52-2818

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
花 岡 小	虻川 麻里子	創立150周年を迎える、記念YEARも「勇気・つながり・チャレンジ～一人一人が真剣勝負～」を児童会テーマとし、ふるさとキャリア教育を中心に全ての教育活動で課題対応能力の育成に努めています。「花岡チャレンジ活動」＝「花岡PR動画大作戦!」「花岡2024 花小まつり運動会編、学習発表会編」「チャレンジよさこいソーラン」等、子ども主体の取組を進めています。さらに、自ら課題を設定し、学び合いを通して解決しまとめていくというチャレンジ授業への取り組みも11年目を迎え、学びあいを楽しみ・広げ・深める子どもの育成を図っています。
矢 立 小	樋口 慎一	校名の由来となった矢立杉林のように「大地にしっかりと根を張り合い、それぞれが大空に向かってたくましく伸びる子ども」の育成を目指しています。矢立峠にこんこんと湧き出る温泉のように温かい地域の方々に支えられ、今年度創立150周年を迎えました。「矢立ふるさとカルタ」を活用しながら矢立のよさを進んで見つけ、広く発信しながら、たくましく成長する矢立っ子たち。隣接する保育所、北陽中学区内の小・中学校、そして碓ヶ関小学校との交流にも積極的に取り組んでいます。「150年を受けつぎ、新しい歴史つくる矢立っ子」を児童会テーマに笑顔と元気を地域に届けています。
南 小	神原 亮	豊かな自然、歴史や文化財などの恵まれた教育環境を生かし、「いいね みなみっ子! チームみなみでチャレンジ!」を合言葉に、ふるさとや仲間と関わりながら、夢や目標に向かって努力する子どもの育成を目指しています。「さつまいも夢プロジェクト」を通して、秋田市大森山動物園と交流するとともに、収穫したさつまいもを地域の福祉施設に届けるなど、地域貢献活動にも積極的に取り組んでいます。
扇 田 小	伊藤 智	毎朝児童が打ち鳴らす「思いやりの鐘」の音は、地域にも響きわたり、「笑顔いっぱい 夢いっぱい 元気いっぱいの扇田っ子」の活動の始まりを伝えています。「届けよう 笑顔と幸せ」を合言葉に、「地域と共に地域を創る扇田小ふるさとキャリア教育」を核とした教育活動を展開しています。「扇田元気プロジェクト」や、「つきの木タイム」による学び合い等を通して、学教教育目標「届けよう 笑顔と幸せ ～未来の扇田を 支え続ける子どもの育成～」の実現を目指します。
西 館 小	田山 律子	創立150周年を迎える今年度は、学校教育目標「ふるさとと共にかがやき、よりよく生きる子どもの育成～150年のありがとうを丁寧な言葉と心を込めた振る舞いで伝えよう～」のもと、学校をテーマパークとし、学校に行きたいと思えるアトラクション（授業・行事等）づくりに力を入れ、言葉と振る舞い、コミュニケーションを大切にしたい学校づくりに取り組んでいます。「西館ふるさとコミュ科」を核にした地域、保育園、特別支援学校等との多様な交流活動を展開し、子どもと地域が共にかがやき、ふるさとが大好きと思える、自分の思いを表現できる子どもの育成を目指します。
東 館 小	山口 誉	とんぶり・比内地鶏・十和田石など全国区となる特産物、450年あまり前の浅利氏の残した史跡・文化等は東館小の大きな強み。旧三岳小と旧大葛小の伝統を融合させながら、未来大館市民を育成するべくふるさとキャリア教育の活動に取り組んでいます。150周年に際して学校教育目標を新たに「輝く未来へ なりたい自分を追求し しなやかに生き抜く子どもの育成～保護者や地域を幸せにする「東館笑輝」を目指して～」とした。児童数や職員数は減ったが、「笑顔」「あいさつ」「歌声」「3つの極める（聴く・反応・考える）」で地域に貢献し、多くの方に希望と元気を届けます。そして、東小っ子の更なる進化を目指します。
早 口 小	加藤 長幸	羽州街道に門を置く学校として開校149周年を迎える本校は、今年度も「早口川の徒渡り」「はつらつ元気農園」など、いつも応援してくださる地域に元気と笑顔を届ける活動に取り組めます。今年度は、伝統校に在籍する自覚とプライドを、また羽州街道に門を置く学校の一員としての誇りをもたせる「早小プライド」を前面に出して諸活動に臨んでいます。そして、「自尊・自立・貢献」のふるさとキャリア教育を通して自己有用感を高め、学校教育目標「未来を見つめ はつらつと学び 共に輝く 子どもの育成」を目指します。
山 瀬 小	藤原 寿準	「夢をもち、やさしく、まじめに、せいいっぱいがんばる子ども～」を目標に掲げ、地域の「もの・ひと・こと」と豊かにかかわりながらふるさとに学び、未来を拓く児童を育てる教育活動に取り組んでいます。今年度は、「一歩前へ チャレンジ! 実践・共感・協働～たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのっ子 T・T・S（つながり・たしかめ・シンカする）で確かな学力を～」をめあてに、「たけのこプロジェクト」（栽培・販売活動、ふるさとを歩こうデー、たけのこ和紙作り）や伝統文化である樺細工や代野番楽に触れるクラブ活動を推進します。学校・家庭・地域が一体となったふるさとキャリア教育の充実を図り、「たけのこの里でぐんぐん伸びるたけのっ子」を目指します。
合 計		

児童数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
35	6	12	13,893.00	5,788.35	M 7.10. 7	大館市花岡町字根井下22 0186-46-1615
22	4	8	13,338.00	3,773.64	M 7.12.24	大館市白沢字白沢1149 0186-46-3012
74	8	13	22,574.63	4,923.44	(統合) S 51. 4. 1	大館市下川原字向野6 0186-49-5518
159	9	19	12,847.00	5,782.11	M 7.11. 5	大館市比内町扇田字白砂131 0186-55-0043
58	7	11	23,540.53	5,593.00	M 7.11.18	大館市比内町笹館字前田野77 0186-55-0324
40	4	8	23,026.00	3,384.65	M 7.10.25	大館市比内町独鈷字独鈷90-1 0186-56-2112
52	7	12	18,291.00	4,046.30	M 8.10. 5	大館市長坂字坂地岱12 0186-54-3033
103	6	12	18,864.00	3,801.04	(統合) S 37. 4. 1	大館市岩瀬字上軽石野39-18 0186-54-3036
2,384	151	268				

(2) 中学校

校 名	校 長 名	学 校 の 特 色
第 一 中	武田 俊一	校訓「英知」「友愛」「忍耐」のもと、教育目標「豊かな創造性を磨き 現在及び将来をたくましく生き抜く生徒の育成」を具現化するため、指導の重点として、豊かな創造性を磨き「自立」と「規律」のバランスを備えた集団の育成を教育実践重点テーマに掲げました。今年度は「校歌・校章の具現化を目指し思いを一つに」を生徒・職員共に合言葉とし、様々なことに挑戦していきます。
北 陽 中	田中 覚	開校10年目の節目の年となります。教育目標「心打つ振舞いで、自他への思いやりと幸せを芽ぐむ生徒の育成」のもと「持続可能な北陽地区・北陽中」を目指す“成熟期～リブランド北陽中”の1年次に当たります。培ってきた「共感」「規律」を基にして、本校の授業づくりの核「学美」を全教育活動へと広げる「往還」をキーワードに取り組みを進めます。防災活動をはじめとする地域連携活動を通して磨き上げる“振舞い”を、たくましく生き抜いていく自己決定力へとつなげ「未来大館市民」を育てます。「北の大地から大館を照らす太陽のような学校」へ。大館全体を明るく照らすのが「北陽中」の使命です。
下 川 沿 中	田村 新一	校訓の「英気」「叡知」「純情」に当てた3つの「りつ」、「立」「率」「律」を意識しながら「挨拶」「授業」「掃除」を大切にして毎日の生活を送っています。今年度も「(株)下中構想」の下、地域を盛り上げるための提案をしながら、ボランティア活動や、四大祭(「体育祭」「下中祭」「収穫祭」「感謝祭」)に全力で取り組んでいます。これまでも地域と共に全校生徒で継承してきた伝統の「川口獅子踊り」は、今や本校の代名詞にもなっております。全校生徒数は多くありませんが、一人一人が主体性をもって取り組む少数精鋭の中学校として、地域と共に自分たちも楽しみながら頑張っています。
南 中	御船 美喜雄	学校教育目標「なりたい自分を求め、自ら考え判断し、行動する生徒の育成」の具現を目指す学校経営の重点キーワードは、「自律と共生」です。この「自律と共生」を支えるスローガンが小中共同実践事項でもある「あいさつ・拍手・歌声」と、学習の3つの「あ」の取組です。1小1中の本学区のよさを発揮し、活力ある地域コミュニティの核となる学校を目指して、家庭・地域と連携・協働し、共感的な人間関係のもと、小中連携による「ふるさとに根ざす元気な学校づくり」を推進します。今年度初めて実施する小中合同運動会「みなみ大運動会」は、まさに象徴的な施策です。
成 章 中	松尾 弘	旧藩政時代の郷校成章書院の精神と伝統を受け継ぐ学校です。地域の福祉施設との交流活動や高齢者宅への花寄贈等のボランティア活動をはじめとした地域との連携・協働活動を中核に、地域と共に歩む学校です。学校教育目標「ふるさとを担う気概にあふれ、未来を切り拓く生徒の育成」のもと、「成章スピリッツ～向学の志気と気風を高め、未来を見つめる～」を合言葉に、「自主：進んで活動する意欲」、「思考：共感的・協働的に学び合う」、「敬愛：ふるさとを愛する」気持ち意識しながら活動に取り組んでいます。
東 中	伊多波 卓美	校訓「立志」・「友愛」・「剛健」のもと、将来高い志をもってふるさとを支えることのできる人材の育成に努めています。今年度の学校経営キーワード及び生徒会テーマは「光輝燦然(こうきさんぜん)～『わ』でつながる東中生～」です。学校を公(社会を形成する)・私(なりたい自分を追求する)のための土台づくりの場とし、「鳳凰タイム」を軸に、共感的・協働的に学び合う力を大切にしています。ふるさとと共にある学校を目指し、東中三大自慢「あいさつ・歌声・東中太鼓」を通して、地域に元気を届けます。
比 内 中	渡部 鋼喜	教育目標「ふるさとに根ざし、明るくたくましく生きる生徒の育成」のもと、「明朗」「剛健」「立志」の3つの校訓が、表情や行動として表れるように取り組みます。また、「ひない力(人とうまく関わる力、何事にもあきらめずに努力する力、今の学びを未来につなげる力)」を生徒に身に付けさせるために、キーワードの「整える」を意識させ、「あしば(あいさつ、時間、場に応じた行動)」をしっかりと固めると共に、3年目を迎える「とんぶりSDGs」の進化を目指します。そして、比内中生一人一人が輝き、比内中が輝き、地域を元気にします。
田 代 中	山崎 悟	教育目標「ふるさとに誇りをもち、今と未来の幸せをつくる学校」のもと、未来につながる3つの架け橋として、「未来につながる確かな学力の育成」「未来につながる豊かな人間性と社会性の育成」「ふるさとへの誇りや自立の気概を育み、未来につながるふるさとキャリア教育の充実」を掲げて日々の実践に取り組んでいます。人間的基礎力を育成する「AKS運動、伝統の「田っ中ソーラン」をはじめとした生徒の主体的な活動、そして地区ボランティア等の地域貢献活動を通して、一体感と活気あふれる学校を目指しています。
合 計		

(R6.5.1現在)

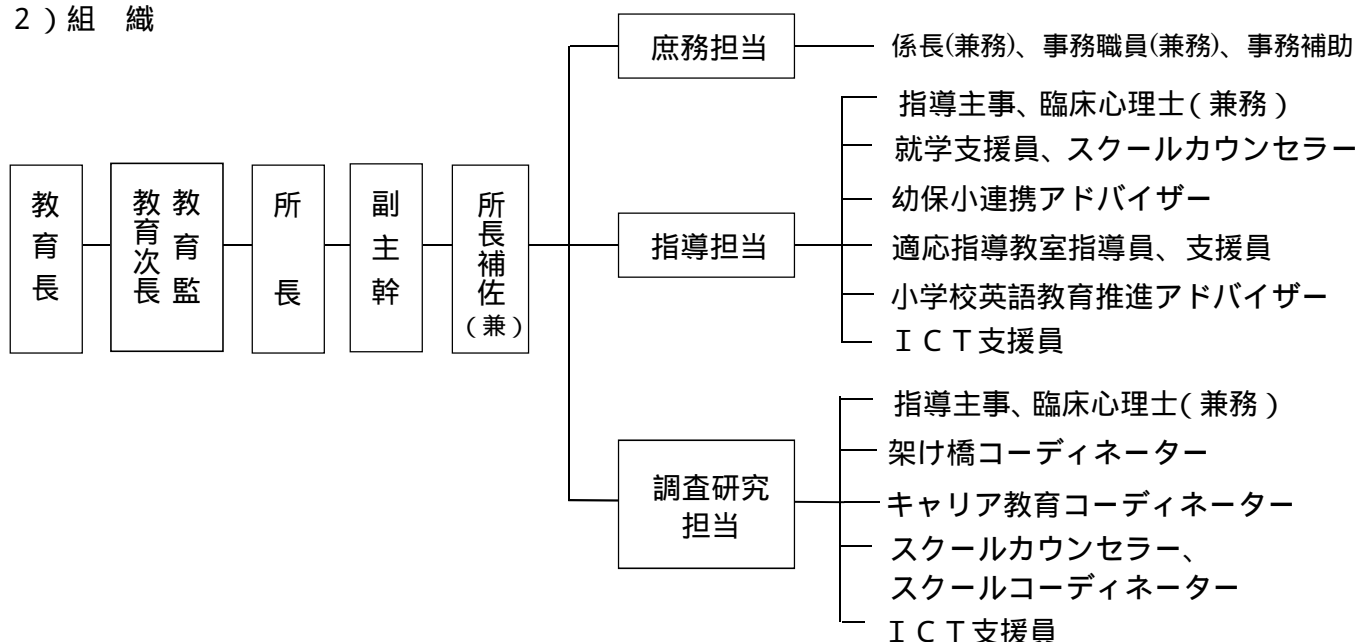
生徒数	学級数	教職員数	校地(m ²)	校舎(m ²)	開校年月日	所在地 ・ 電話番号
395	17	36	36,219.68	11,592.49	S 22. 5. 1	大館市北神明町10-1 0186-42-4177
134	8	19	23,934.00	5,562.65	H 27. 4. 1	大館市釈迦内字長者森1 0186-48-2935
40	5	15	26,593.00	3,947.20	S 22. 5. 1	大館市川口字隼人岱108-69 0186-42-9761
62	5	15	48,659.00	4,115.23	(統合) S 40. 4. 1	大館市二井田字小石台20 0186-49-5516
45	4	14	26,931.00	3,926.26	S 22. 4. 1	大館市猿間字中谷地10 0186-52-3022
377	16	31	38,869.69	7,994.29	(統合) S 45. 4. 1	大館市有浦五丁目2-8 0186-42-2835
164	9	22	58,744.00	7,936.00	(統合) S 45. 5. 1	大館市比内町扇田字新館野中岱12 0186-55-1505
94	4	14	69,893.00	7,027.80	(統合) S 43. 4. 1	大館市岩瀬字下軽石野2-2 0186-54-3042
1,311	68	166				

4. 教育研究所

(1) 所在地

大館市早口字上野43番地1 TEL (0186) 43-7114
FAX (0186) 54-6100
E-mail kyokenkyu@city.odate.lg.jp

(2) 組織



(3) 所員 24名

所長 1名 副主幹 1名 所長補佐(兼務) 1名 学事係長(兼務) 1名 指導主事 1名
事務職員(兼務) 5名 臨床心理士 1名 事務及びキャリア教育補助 2名
キャリア教育コーディネーター 1名
適応指導教室指導員 2名 適応指導教室支援員 1名 就学支援員 1名
架け橋コーディネーター 1名 幼保小連携アドバイザー 1名
小学校英語教育推進アドバイザー 1名 スクールコーディネーター 1名
市スクールカウンセラー 2名

(4) 事業

指導・援助

- ・学校訪問による指導と援助
- ・教育諸調査の実施と分析、活用
- ・小学校英語教育の推進
- ・外国語指導助手、外国語活動支援員の活用
- ・市教育研究会への援助と協力
- ・学習指導要領、教育課程の実施に向けた指導と援助
- ・幼保小中高大連携の推進
- ・ふるさとキャリア教育の推進
- ・ICT活用の指導と援助

教職員研修

- ・ 夏季研修会・ I C T 活用研修講座
- ・ 教職員研究実践発表会
- ・ 初任者研修・ 市内諸施設及び企業等見学会
- ・ 講師研修会
- ・ 授業力向上支援研修
- ・ 小学校外国語活動・ 外国語研修会



市内施設・企業見学会
(大館工芸社での曲げわっぱ製作の見学)



授業力向上支援研修会
(授業マイスターとのグループ協議)

教育相談

- ・ 相談活動(子育て相談会、来所相談、電話相談、学校訪問)
- ・ いじめ・不登校児童生徒の実態把握と指導・援助
- ・ 学校及び関係諸機関との連携による指導・援助
- ・ 幼児通級指導教室「育ちの教室ぐんぐん」による指導・援助
- ・ スクールカウンセラーの派遣

研修や指導に活かされる資料の収集及び情報提供

- ・ 所報「教育おおだて」
- ・ 諸研究会、研修会の情報提供
- ・ 先進的研究及び実践の紹介

子どもハローワークの運営

- ・ きりたんぽまつり等への参加

子どもサミットの運営

- ・ ペットボトルキャップ回収
- ・ こでん回収
- ・ 学校独自の活動(様々なロス削減の活動、メディアコントロールに関わる活動)
- ・ もっとつながるあいさつ運動
- ・ 釜石児童生徒会「かまいし絆会議」との交流

(5) 主な事業から

【大館市子どもサミット】

代表会議での活発な意見交換



釜石市訪問 かまいし絆会議との交流



【子どもハローワーク】

消防士のお仕事（大館消防署）



薬剤師体験（青森大学）



5. 教育研究会

(1) 共通主題

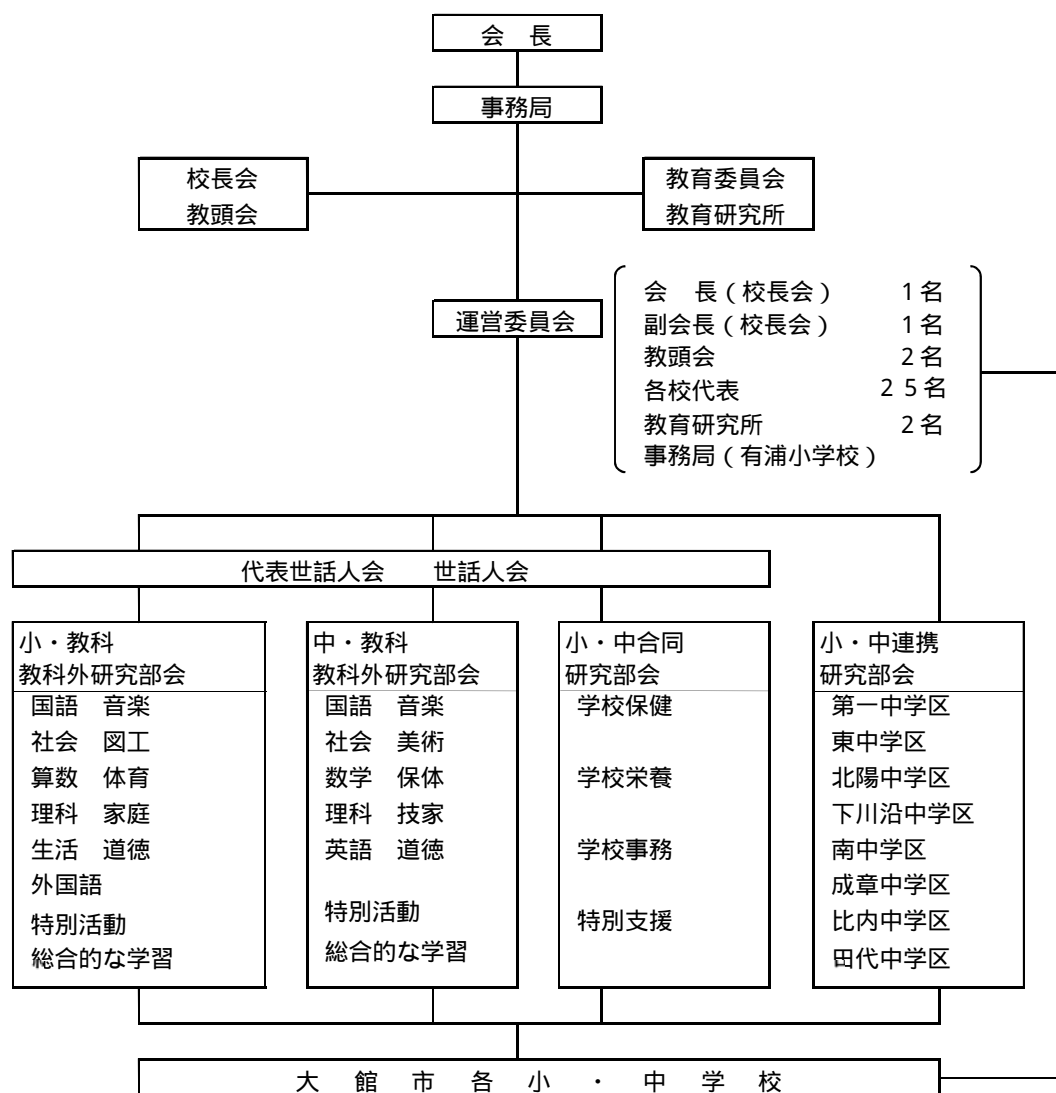
「自立の気概と能力を備え、ふるさとの未来を切り拓く、児童生徒の育成」

～主体的で共感的・協働的な学び合いによる『おおだて型学力』の深まりを目指して～

(2) 目 的

この会は、各校の特色を生かしながら大館市の教育の共通課題に対して計画的研修・実践活動を行い、教職員の資質を高めるとともに、関係教育機関と協力して大館市の教育の充実発展を図ることを目的とする。

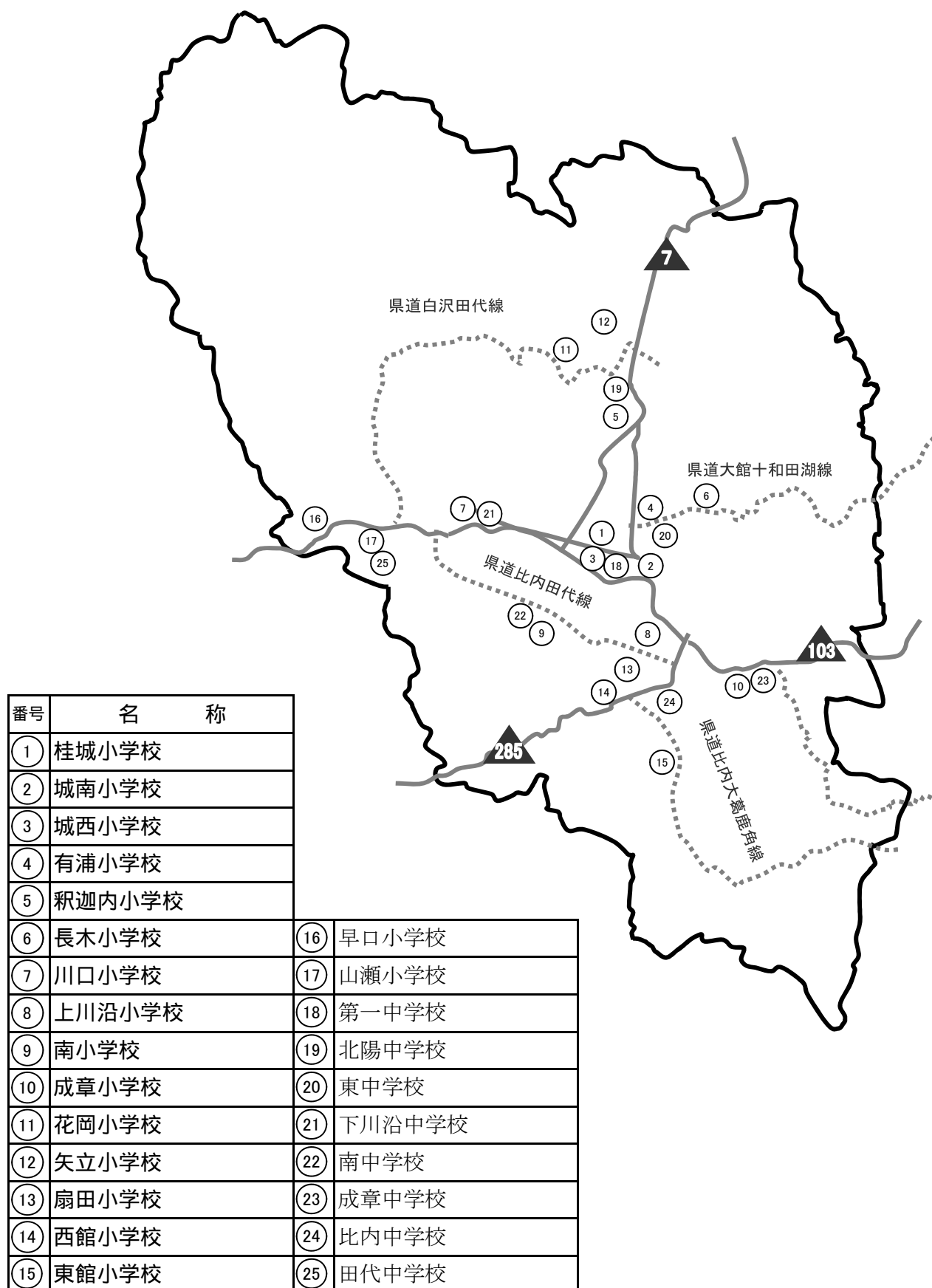
(3) 運営機構



(4) 今年度の事業計画

- 4月12日 第1回総合研究会 (13:30～文化会館・中央公民館等)
- 5月 7日 第1回運営委員会 (有浦小学校)
- 5月 7日 第1回研究紀要編集委員会
- 10月16日 中学校第2回総合研究会 (午後)
- 10月17日 小学校第2回総合研究会 (午後)
- 11月 6日 第2回総合研究会 (午後)
 - 特別の教科：道德 教科外：特別活動
- 11月 7日 合同：特別支援、学校事務、学校栄養、学校保健
- 12月26日 第2回研究紀要編集委員会 (午後 有浦小学校)
- 2月 5日 第2回運営委員会 (午後 有浦小学校)
- 3月 研究紀要「究」発行

6．大館市立小学校・中学校所在地





友好都市教育交流事業（常陸大宮市）



西ノ内和紙漉き絵体験（常陸大宮市）